

ふりがな 氏名	のむら かよ	都道府県	岐阜県	
	野村 佳世			
所属/肩書	養老町立高田中学校／教諭、 Go4BioDivメッセンジャー			
私の ESD活動	新しい仲間と出会い、素晴らしい考えを共有することで、私たちの地球の未来を素敵に創り上げる こと			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

#### 「私たちの食べものはどこから？」の実践

生徒の大好きな和食や洋食の食材が、実際には日本産ではなく、外国からの輸入でなりたっていることを知るためのワークショップ。日本の食生活は主に海外により助けられている事を知ること、今後の食生活を見直して欲しいという目的で始めた。日頃よく目にする食品の広告から、食品がどこの国からやってきたのかを見つけ、食品を切り取り、地図帳に貼り付けていった。最後に地図を眺めてみると、多くの食品が日本へ輸入されていることを知った。このことから、日本人の生活は海外の食品や人々の労働力によって支えられていることを知ることができた。また、日本の裏側から届く食品のフードマイレージを計算して、食品が日本に届くまでの距離とCO2の多さを知り、生徒たちも驚いていた。日本に有り余るほどにある食品が地球の裏側の環境までも汚染していることを学び、生徒は、食品を大切に食べることに同時に地産地消活動の取り組みも考えることができた。

#### 「“幸せ”な世界に！」の実践

人の“幸せ”の価値はいったいどこにあるのか。そんなテーマで、世界の家族と家族の所有物の写真から、“モノ”が多くある生活が幸せなのか、“家族や笑顔”のある生活が幸せなのかを考えた。一見、貧しく見える生活でもそこにはモノやカタチとしては表わせない“幸せ”があることに気づく。世界各国の生活の様子や文化を学ぶことができた。また、他国に関する偏見や人権を考え直すよい機会になった。国際理解にも繋がり、様々な国の生活をたった1枚の写真から見て、知ることができた。

#### 「生物多様性～カラーを身近に～」の実践

白紙を外に持ち出し、カラフルな草花を紙に張り付けていく。いろいろな色で満タンにしたときに気づいたのは…。世界に存在する自然のものには、似た色や形はあっても、全くもっておなじ色や形が存在しない、少しずつ違っていることを発見した。

#### 今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

私は日頃から、ESD を創り上げるときに、日本の若者として、“世界の中の日本人”として何ができるかを考えた活動を取り入れたいと考えている。今回の国際会議では、世界の教育に劣らない日本の ESD の実践や研究を世界に発信したいと考えている。私たちがどんなことを問題として取り上げるのかによって、ESD の仕組み方も変わってくる。最も効率のよい“学び”は何か、一人で考えても答えはでないので、仲間と協力して創り上げる ESD を発信したい。

日本が抱えている環境問題や自然災害、外国人労働者、外国人生徒への教育など、日本ならではの課題点がある中で、どのように日本の若者が私たちの未来を、社会を変えようと頑張っているのかを世界にアピールするよいチャンスである。海外の ESD を研究し、ヒントを得た私の ESD に対する取り組みの実践をぜひ世界に発信し、世界中で“日本を知るための ESD”が行われることを願います。